

第5期（平成18年度）事業報告 （平成18年4月1日～平成19年3月31日）

特定非営利活動法人 近畿水の塾における第5期（平成18年度）の事業についての以下のとおり報告する。事業の種類については、定款にもとづき、概ね次のように分類するものとする。

事業の分類（定款第5条より）

- 1．人と水との関わりに係る調査及び研究
...新しい気づきとその共有のために、人と水とのあるべき関係について考える、公開研究会を定期的に開催する。
- 2．人と水との関わりに係る事業の企画及び実施
...流域内・流域間の幅広い交流のために、人と人の幅広い交流を目指し、シンポジウムや出張教室を企画・実施する。
- 3．人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助
...具体的な問題解決のために市民的な視点、専門的な観点から提言・助言活動を行う。
- 4．人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出
...電子メールやホームページ、ニュースレター等を通じて、幅広い情報提供を行う。

1．人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の仕事とマイリバー」をテーマに、会員を中心とした各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施した。

- ・フィールドワークとして、交野市・たち川上流での自然再生見学（6/10）、日野川ミニわんどとたんぼビオトープ見学（9/3）の呼びかけを行い、参加少数ながら実施した。

【実施場所】大阪府環境情報センター環境情報プラザ等

【実施期間】平成18年4月1日～平成19年3月31日（月1回程度）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・古老から「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」（仮称）の聞き取り調査及び近畿水の塾オリジナルの「川の時刻表」づくりについて、計画ではあげたが、ともに実施できなかった。

【実施場所】近畿圏内

【実施期間】平成18年4月1日～平成19年3月31日

2．人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、猪名川流域の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する近畿水環境交流会 in 猪名川（8/5-8/6）を開催した。

- ・ NPO 法人地球デザインスクールの内藤先生による講演「2030年、この国で人はどのように暮らしているのだろうか？～環境先進県”滋賀”をモデルに、人類持続社会の姿を描く～」を開催した(6/3)。
- ・ 猪名川・藻川まつり(9/16-17)の中で、E ボートによる水面利用イベントや水のフォーラムを企画実施した。

【実施場所】藻川等

【実施日時】平成18年4月1日～平成19年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

「大阪子どもの水辺ネットワーク」での助言、提案

【実施内容】「大阪子どもの水辺ネットワーク」を通じて、イベントの企画立案や各種提言を行った。

【実施場所】大阪府域

【実施日時】平成18年4月1日～平成19年3月31日

岸和田市の職員研修会での助言、提案

【実施内容】岸和田市の職員研修会「市民と行政の協働のまちづくり～NPO 法人って DO YOU KNOW ん(どーゆーのん)?～」に在岸和田の NPO の会員として、白木氏がパネラーとして参加し、近畿水の塾の活動紹介や自治体職員への助言、提案を行った。

【実施場所】岸和田市

【実施日時】19年2月2日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させた。

- ・ ニュースレターを1回発行した。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・ BY スタンプラリーに継続して参画した。近畿水環境交流会 in 猪名川や拡大版河川塾をエントリーした。

- ・ 「全国水環境交流会(川の日ワークショップ)」の実行委員に参画した。(総会:5/27)
- ・ 「川の日ワークショップ」等全国的なネットワークにも積極的に参画した。
- ・ NPO「農・都共生ネットこうべ」と連携はできなかったが、河川塾での取り組みの報告をしていただき、様々な情報を共有できた。
- ・ 水郷水都全国会議(9/16-18)の実行委員に参画し、「流域委員会」分科会を担当した。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第5期（平成18年度）特定非営利活動に係る事業収支決算書

第1号議案

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成18年4月1日から平成19年3月31日

（単位：円）

科 目	決算額	予算額	差異	備 考（決算）
収入の部				
1 入会金・会費収入				正会員57、賛助15
正会員入会金収入	8,000	20,000	(12,000)	2千*4
正会員会費収入	164,500	180,000	(15,500)	3千*46、1.5千*1、5千*5
賛助会員会費収入	14,000	40,000	(26,000)	2千*7口
2 寄付金収入	3,186	10,000	(6,814)	理事会後
3 助成金収入	0	50,000	(50,000)	
4 事業収入				
調査・研究事業	66,030	75,000	(8,970)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	9,000	100,000	(91,000)	総会講演、イベント
助言・支援事業	5,000	30,000	(25,000)	
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	389	0	389	
当期収入合計（A）	270,105	505,000	(234,895)	
前期繰越収支差額	1,495,042	1,347,000	148,042	
収入合計（B）	1,765,147	1,852,000	(86,853)	
支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	3,000	30,000	(27,000)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	42,337	150,000	(107,663)	総会講演の謝礼等
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	10,000	(10,000)	
その他事業	0	10,000	(10,000)	
2 管理費				
広告宣伝費	0	50,000	(50,000)	
給与手当（事務局職員）	120,000	120,000	0	アルバイト
水道光熱費（事務局）	0	0	0	
通信費	79,293	75,000	4,293	NTT, Yahoo, 切手代
旅費交通費	19,930	50,000	(30,070)	
消耗品費	2,150	30,000	(27,850)	事務用品費
会議費	15,150	20,000	(4,850)	
支払手数料等	1,540	15,000	(13,460)	振込料
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	1,000	(1,000)	
諸会費	0	2,000	(2,000)	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	0	30,000	(30,000)	
当期支出合計（C）	283,400	603,000	(319,600)	
当期収支差額（A - C）	(13,295)	(98,000)	84,705	
次期繰越収支差額（B-C）	1,481,747	1,249,000	232,747	

第6期（平成19年度）事業計画 （平成19年4月1日～平成20年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第6期（平成19年度）の事業について、以下のとおり計画する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・今年度も、「私の仕事とマイリバー」をテーマに、会員を中心とした各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。

・フィールドワークとして、安威川、近木川、芥川等で川歩きを実施する。

【実施場所】大阪府環境情報センター環境情報プラザ等

【実施期間】平成19年4月1日～平成20年3月31日（月1回程度）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・高槻、宝塚、名張などで、古老から（仮称）「おじいちゃんの仕事、おばあちゃん暮らし」の聞き取り調査を実施する。

・近畿水の塾オリジナルの「川の時刻表」づくりを実施する。（候補：南海電鉄空港線）

【実施場所】近畿圏内

【実施期間】平成19年4月1日～平成20年3月31日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、寝屋川流域の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する近畿水環境交流会 in 寝屋川（7/28-7/29）を開催する。

・高槻公害問題研究会、芥川倶楽部の田口圭介氏による講演「高槻のローカルヒーローが語る！市民活動37年の足跡」を開催する（6/2）。

・元国交省近畿地整局河川部長に宮本博司さんによる講演「イタセンパラの赤ちゃんが見た川整備と住民・環境」を開催する（19年秋）。

・猪名川・藻川まつり（9/16-17）の中で、Eポートによる水面利用イベントや水のフォーラムを企画実施する。

【実施場所】寝屋川、藻川等

【実施日時】平成19年4月1日～平成20年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。

・ニュースレターを2回程度発行する。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BY スタンプラリーに継続して参画する。近畿水環境交流会 in 猪名川や拡大版河川塾をエントリーする。

・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。

・「川の日ワークショップ」等全国的なネットワークにも積極的に参画する。

・NPO「農・都共生ネットこうべ」とフォーラムやエコツアーによる連携する。

・子ども水辺ネットワークの事業に参画する。(5/20Eボートによる淀川下りなど)

・「川を流域住民に取りもどすための全国シンポジウム」(8月11・12日於徳島)への呼びかけ人としての参加

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第6期（平成19年度）特定非営利活動に係る事業収支予算書

第2号議案

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成19年4月1日から平成20年3月31日

（単位：千円）

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考
収入の部				
1 入会金・会費収入				正会員60、賛助20
正会員入会金収入	20	8	12	2千円×10人(新規+10として)
正会員会費収入	180	165	15	3千円×60人
賛助会員会費収入	40	14	26	2千円×20口
2 寄付金収入	10	3	7	
3 助成金収入	50	0	50	
4 事業収入				
調査・研究事業	75	66	9	0.5千円×10人×15回
シンポジウム等企画・実施事業	100	9	91	1千円×100人
助言・支援事業	30	5	25	講師謝金
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	0	0	0	
当期収入合計（A）	505	270	235	
前期繰越収支差額	1,482	1,495	(13)	
収入合計（B）	1,987	1,765	222	
支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	30	3	27	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	150	42	108	講演、水交流会等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	ニュースレター
その他事業	10	0	10	
2 管理費				
広告宣伝費	30	0	30	パンフレット
給与手当（事務局アルバイト）	120	120	0	アルバイト（1万円/月）
水道光熱費	0	0	0	
通信費	80	79	1	NTT, Yahoo
旅費交通費	30	20	10	
消耗品費	10	2	8	
会議費	15	15	0	
支払手数料等	5	2	3	振込料等
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	印紙代
諸会費	5	0	5	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	30	0	30	
当期支出合計（C）	535	283	252	
当期収支差額(A-C)	(30)	(13)	(17)	
次期繰越収支差額(B-C)	1,452	1,482	(30)	

平成19年度 役員候補名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事	福廣 勝介
理事	足立 崇博
理事	久保田 洋一
理事	西河 嗣郎
理事	佐藤 拓二
理事	白樫 誠治
理事	塚田 順一
理事	速水 成隆
理事	安田 博之
理事	疋島 巖
監事	勝山 慶一

※ 理事あいうえお順

平成17年度 役員名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事長	福廣 勝介
理事	足立 崇博
理事	白樫 誠治
理事	塚田 順一
理事	西河 嗣郎
理事	速水 成隆
理事	安田 博之
理事	佐藤 拓二
理事	久保田 洋一
監事	勝山 慶一

※理事あいうえお順